

曾 於 市 Soo CITY 話題の広場 Topics

大淀川クリーン作戦



7月15日、末吉の森田橋から浜田橋（マインドロード）までの間の河川敷を新町自治会と末吉町建設業協同組合の皆さんが、ボランティアで草払い等の清掃を行いました。

当日は、夏らしくうだるような暑さの中、新町自治会や同組合から総勢約80人が参加して、持ち寄った草刈り機などで手際よく草払いやゴミ拾いなどが行われました。作業終了後は、見違えるようなすっきりとした河川敷になりました。

同組合長の宮尾克秀さんは「地元への恩返しと思い、地域貢献活動や河川愛護活動の一環として取り組みました。ここは曾於市の玄関口、来て頂いた方に気持ちよくなって欲しい。今後もこの活動を続けていきたい」と話されました。

「サマー・キッズ体験」の実施



お米を研ぐ子供達



竹で作った水鉄砲で遊ぶ子供達

曾於市観光特産開発センターは、7月24日、財部町の「きたん市場」で「サマー・キッズ体験」を実施しました。内容は、陶芸体験、竹で水鉄砲作り、釜でご飯炊きとガネ等のおかず作り、カブトムシ釣りと盛り沢山の体験でした。

参加者は、総勢40人で、曾於市内の人は元より、鹿児島市、指宿市からの参加者もありました。

陶芸体験では松ノ下さんの指導を得ながら思い思いの作品を作り、竹で水鉄砲作りでは完成した水鉄砲でビショビショになりながら楽しく遊び、昔ながらの釜によるご飯炊きでは、薪で火を焚くことに感動し、ガネや厚揚げ作りでは親子で野菜・豆腐を切り、揚げることで体験し、子供が大好きなカブトムシは魚釣りの要領で釣って楽しみました。

主催者である吉川所長の話によると、企画の趣旨は曾於市グリーン・ツーリズムの推進で、学校で教えてくれないことを子供さんに体験して頂き、幅広い知識をつけて貰いたいこと、また夏休みの楽しい思い出作りの手伝いをしたいとのことでした。

宮崎まんなか市場に出店



曾於市観光特産開発センターの販売コーナー

宮崎県の会社が「生産者の思いを買う人へ直接届けたい」との考えで、宮崎市のボンベルタ橘百貨店の地下一階（食品館）に「宮崎まんなか市場」をオープンさせました。これを受け、曾於市観光特産開発センターは、7月1日、「宮崎まんなか市場」に常設の店を構え、曾於市の食料加工品・お茶・木工品・陶芸品等を販売するとともに、曾於市観光パンフレットを置いて曾於市の観光PRも行っています。この他、市内各企業にも紹介し、メセナ食彩・JAそお鹿児島・きたん市場・川畑菓子舗さんも独自のお店を構えることになりました。

当開発センターの吉川所長は、宮崎県への販路拡大だけでなく、曾於市の名前・特産品・観光のPRに努めるとともに、曾於市のアンテナショップとしての機能を持たせたいとのことでした。また、宮崎市周辺に知人がいらっしゃる方は、宮崎まんなか市場で曾於市の特産品を買って頂くようPRして頂ければとのことでした。

仔牛三頭誕生



7月20日、末吉町松尾にお住いの松尾正徳さんのお宅に仔牛の三つ子が誕生しました。

仔牛の三つ子は、大変珍しくとても縁起が良いものだとされているそうです。

松尾さん宅では、平成元年にも三つ子が誕生しており今回もしかしてと思い念のために獣医さんと呼んでいたそうです。

三つ子の牛達は、大型犬ほどの大きさでとても可愛らしく、とても人懐っこく取材に来た私にもじゃれついて来たためズボンがびしょ濡れになってしまいました。愛くるしい姿がとても印象的でした。

松尾さんに話を聞くと「やっとこさで生まれた三頭の仔牛、大切に育てていきたいと思っています。」と目を細めながらおっしゃっていました。

真新しく仕上がり新築同様です。



8月10日、末吉町の岩北小学校で、曾於市塗装会の皆さんが校舎の壁や渡り廊下、プールのカーヌー置き場などの塗り替え作業をボランティアで行いました。

同会は、市内で塗装業を営む6社の皆さんが加盟し、地域貢献活動の一環として毎年行っているものです。

これまで塗装会では、市内5校でもボランティア作業を行い、今年は岩北小学校で実施。剥がれていた壁が真っ白に塗り替えられ新築同様に仕上がっていました。

会長の新留国弘さんは「今後も市内の学校を中心にボランティア作業を行いながら、地域に貢献していきたい。」とおっしゃっていました。

※6社の内訳は、池田塗装店、山下塗装店、大野塗装、野上田建築板金塗装、竹之下塗装、新留塗装店さんです。

ボランティア団体リーダー等研修会



7月29日、曾於警察署会議室で自主防犯ボランティア団体連絡協議会研修会が開催されました。会に先立って末吉中央パトロール隊の方々の九州少年補導功労団体表彰の伝達があり、すべてのボランティア団体の励みになりました。

研修会では、市内の自主防犯ボランティアの代表者や行政機関など総勢50名が参加し、曾於市安全安心協会の取り組みや防犯指針、犯罪をなくす県民運動の趣旨、防犯ボランティアマニュアル等の説明がありました。

その中で、「**いかのおすし**」の励行という、こどもが犯罪に巻き込まれない為のまだ耳慣れないキャッチフレーズがありましたので紹介します。**行**かない(おいでと言われてもついていけない)、**乗**らない(知らない車には乗らない)、**大**声でさけぶ(危険を感じたら叫ぶ)、**す**ぐに逃げる(110番の家等に逃げる)、**知**らせる(家の人や先生に知らせる)です。

地域の子どもは、地域みんなの宝であるという気持ちで皆で大切に守り育てましょう。

世界レベルの華麗なダンスに魅了



7月29日、末吉町のメセナ会館に世界各地で活躍されている日本人プロダンサー Kento Mori |(ケントモリ)さんが訪問し、ワークショップ(自主的活動方式の講習会)を行いました。

ケントモリさんは、1985年生まれの26歳、2008年に単身渡米し、1年半でアーティストビザを取得。その後アメリカのトップアーティスト「マドンナ」のワールドツアーダンサーに抜擢されるなどめざましい活躍をされている方です。また故マイケル・ジャクソン自らが最後に選んだダンサーとしても有名になり、国内外でテレビに取り上げられるなど、ダンスファンにはたまらない存在の方だそうです。

講習会では、15時、17時と総勢80名の方々が参加し、世界レベルの華麗なダンスに魅了されていました。

ケントモリさんは、とても気さくな方で取材にも快く応じて頂きました。今後のご活躍を心からお祈りいたします。

ロードスイーパーを贈呈



7月5日、(株)ニシムタ末吉店の桑幡剛さんと川畑秀人さんが市長室を訪問し「灰の除去に活用ください」と手動のロードスイーパー5台を贈呈されました。

このロードスイーパーは、クリーンセンターや火葬場、大隅支所などに設置していますが、とても軽く機能性にすぐれとても使いやすいと評判だそうです。

ニシムタの桑幡さんは「地元で生かされている私たちの企業です。新燃岳の降灰に苦むこんな時期に恩返しをしたいという気持ちで贈呈させていただきました。」とおっしゃっていました。

中山副市長は「有効に使わせて頂きたいと思います。」とお礼を述べました。

福島っ子

曾於市を満喫



牛に餌をあげました。



初めて黒豚を見ました。



焼肉とても美味しかった。4人供とても色白なのが印象的でした。

7月24日～8月7日の期間、NPO法人からいも交流主催のホームステイ事業が鹿児島、宮崎両県で23組61人が参加して行われました。これは、福島第1原発事故による放射性物質の拡散で屋外活動が制限されている子ども達にホームステイをしながら夏休みを安心して楽しんでもらおうという目的で企画されたものです。

曾於市には大隅町立馬の永山良一さん宅にいわき市在住の吉野純子さん(42才)、翼君(11才)、愛矢君(10才)、朝斐君(6才)の4人が訪れ、鹿児島の暑い夏を心ゆくまで満喫しました。4人は、県内の観光地を巡りながら夏休みの大切な思い出を作ろうと元気に駆け回っていました。

純子さんに話をお聞きすると「自宅は福島原発から40キロ程離れていますが、毎日報道される放射線量を確認しながら子供達を遊ばせています。水が怖くて未だミネラルウォーターを飲んでいます。こちらに来て放射線を気にせず子供達を思いっきり遊ばせる事ができるのがとてもうれしいです。私と子供達に忘れる事のできない素敵な思い出をプレゼントしてくれた永山さんご夫妻や関係者に本当に感謝致します。」と笑顔でお話してくれました。

第21回鹿児島県少年少女合唱祭出水大会開催



7月27日に出水市文化会館において第21回鹿児島県少年少女合唱祭出水大会が「ひろがれ歌声・南の空に」をテーマとし、県下8団体が参加し盛大に開催されました。

曾於市からも末吉ジュニアコーラスが参加し、丸鶴ミドリ先生、松崎洋子先生の指導のもと「楽しく仲良く美しく」をモットーに歌ったり、踊ったりしながら日頃の練習の成果を充分発揮され、堂々とした歌声を披露し感動を与えてくれました。

3回目の参加となった桑原菜々子(末吉小5年)ちゃん、史弥君兄弟は「沢山の人の前でとても緊張したけど、歌い終わったらとても気持ちよかったです。」と元気よく話してくれました。これからも日々練習を積み重ね活躍してくれると思います。

図書館まつり3館で盛大に開催



7月23日から8月7日まで、曾於市立図書館末吉本館、大隅分館、財部分館で図書館まつりが開催されました。開催期間中は、貸出冊数も10冊までと2倍に増やし、創立20周年おめでとう事業が感謝のうちに推し進められました。

開催内容としては、児童対象に読み聞かせや紙芝居、ビデオ・DVDの鑑賞会、絵本作り、夏休み工作教室が行われました。高齢者対象には、名作「ここに泉あり」の懐かしの映画鑑賞会、一般の皆さん方・全対象向けのお楽しみには、中国楽器「二胡」の図書館空間での夜の音楽鑑賞会、仕上げは、ボランティア育成講座の皆さんの「切り絵七夕発表のタペ」などで3週間にわたって土・日曜日にお楽しみいただきました。

これからも、分館での読み聞かせや映画上映会の開催を引き続き実施できるように尽力していきますので多くの方々のご来場をお待ちいたしております。